

長野市若者支援に関するアンケート調査 結果報告書（抜粋、クロス集計）

令和7年7月30日

こども未来部こども政策課

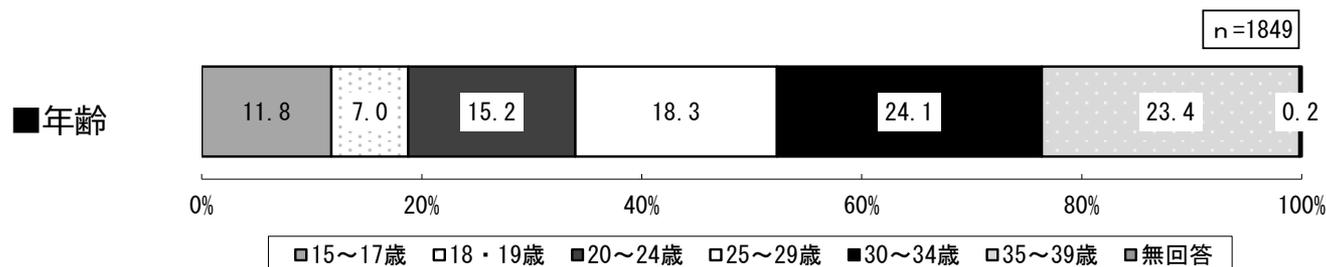
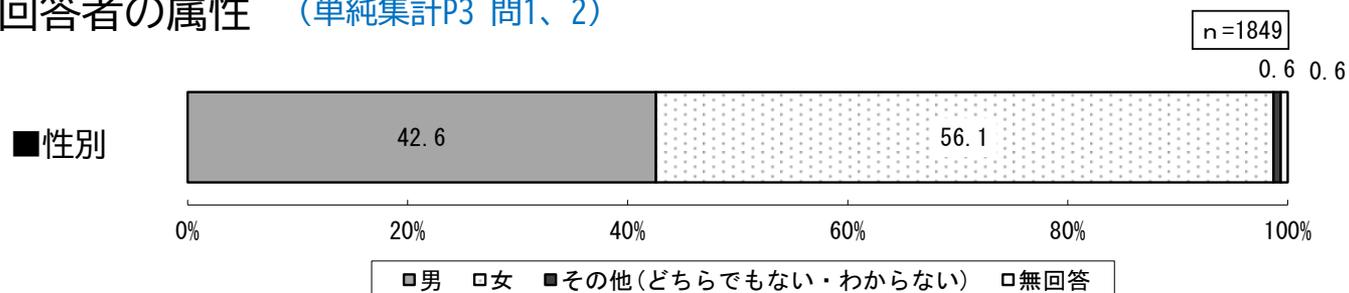
1 アンケート調査実施概要

(1) 実施概要 (単純集計P1)

調査対象	市内在住の満15～39歳
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送・インターネット
調査期間	令和7年5月7日～5月20日 (インターネットのみ5月27日まで実施)

配付数	6,000票
回収数	1,849票
回収率	30.8%

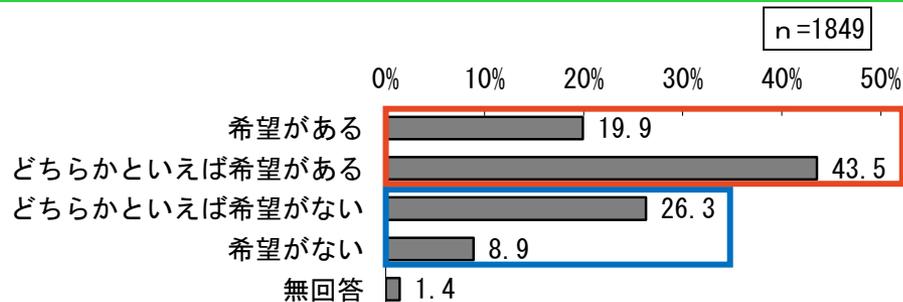
(2) 回答者の属性 (単純集計P3 問1、2)



2 アンケート調査結果概要

(1) 将来の希望

- 自分の将来に明るい希望を持っているかどうかについて、「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」を合わせた『希望がある』は63.4%、「どちらかといえば希望がない」と「希望がない」を合わせた『希望がない』は35.2% (単純集計P11 問13)



【将来の希望×年齢】

- 年齢が若いほど「希望がある」の割合が高い傾向がみられる。

【将来の希望×就労状況】

- 派遣社員では『希望がない』の割合が高い。

		合計	希望がある	どちらかといえば希望がある	どちらかといえば希望がない	希望がない	無回答
全体		1849	19.9	43.5	26.3	8.9	1.4
性別	男	787	21.7	43.8	23.4	8.9	2.2
	女	1038	18.6	43.6	28.4	8.5	0.9
	その他	12	25.0	25.0	16.7	33.3	0.0
年齢	15～17歳	218	30.3	47.7	15.1	4.6	2.3
	18・19歳	129	38.0	41.9	14.7	4.7	0.8
	20～24歳	281	24.2	39.5	27.0	7.8	1.4
	25～29歳	339	17.1	41.9	27.4	12.1	1.5
	30～34歳	445	13.0	43.4	30.1	11.9	1.6
	35～39歳	433	15.7	46.2	30.3	7.4	0.5
就労状況	学生・生徒	384	32.6	44.8	16.4	4.4	1.8
	パート・アルバイト	214	19.2	35.0	33.2	11.2	1.4
	派遣社員	22	18.2	18.2	54.5	9.1	0.0
	契約社員・嘱託	52	13.5	36.5	36.5	11.5	1.9
	正規の社員・職員・従業員	958	15.2	47.5	27.5	8.7	1.1
	会社などの役員	9	22.2	44.4	33.3	0.0	0.0
	自営業・自由業	43	37.2	30.2	27.9	4.7	0.0
	家族従業者・内職	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	74	20.3	59.5	16.2	2.7	1.4
	家事手伝い	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	無職(仕事を探している)	44	4.5	18.2	40.9	36.4	0.0
	無職(仕事を探していない)	23	17.4	13.0	26.1	39.1	4.3
	その他	11	27.3	18.2	36.4	18.2	0.0

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

【将来の希望×社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験の有無(過去・現在)】

- 社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験の有無別にみると、今まで経験があった人、現在、そのような状況にある人では、『希望がない』の割合が高い。

		合計	希望がある	どちらかといえば 希望がある	どちらかといえば 希望がない	希望がない	無回答
全体		1849	19.9	43.5	26.3	8.9	1.4
今までの経験	あった	410	13.7	39.0	28.0	18.3	1.0
	どちらかというと、あった	340	13.5	37.9	37.9	10.0	0.6
	どちらかというと、なかった	297	13.8	53.2	27.3	4.7	1.0
	なかった	785	28.3	45.2	20.1	4.7	1.7
現在の状況	ある	103	8.7	24.3	35.9	30.1	1.0
	どちらかというと、ある	239	7.5	36.4	38.1	17.2	0.8
	どちらかというと、ない	408	10.0	48.3	31.1	9.1	1.5
	ない	1079	27.3	45.5	21.1	4.8	1.2

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

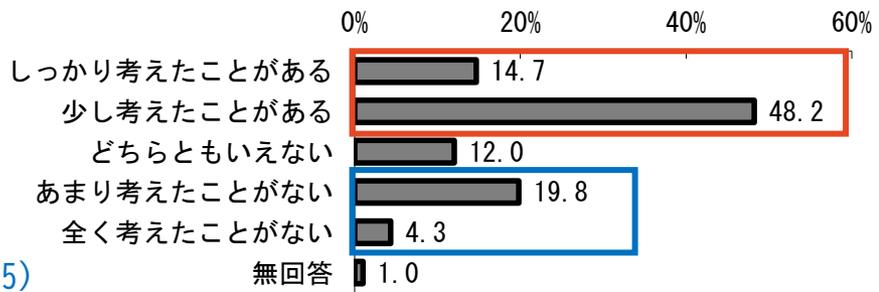
(2) 人生設計(ライフプラン)

n=1849

① 人生設計について考えた経験

- 人生設計について考えた経験は、「しっかり考えたことがある」と「少し考えたことがある」を合わせた『考えたことがある』が62.9%、「あまり考えたことがない」と「全く考えたことがない」を合わせた『考えたことがない』が24.1%

(単純集計P30 問25)



【人生設計について考えた経験×年齢】

- 18・19歳では、『考えたことがある』が7割以上で、他の年代に比べて高い。

【人生設計について考えた経験×将来への希望】

- 将来への希望がある人は、『しっかり考えたことがある』の割合が高い傾向がみられる。

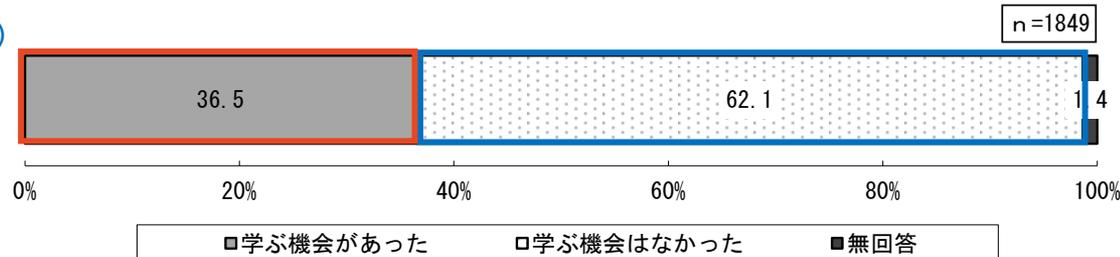
		合計	しっかり考えたことがある	少し考えたことがある	どちらともいえない	あまり考えたことがない	全く考えたことがない	無回答
全体		1849	14.7	48.2	12.0	19.8	4.3	1.0
性別	男	787	17.4	44.6	13.0	19.1	4.7	1.3
	女	1038	12.5	51.3	11.4	20.4	3.7	0.8
	その他	12	16.7	25.0	16.7	16.7	25.0	0.0
年齢	15～17歳	218	10.6	47.2	10.6	25.2	4.6	1.8
	18・19歳	129	17.1	55.8	11.6	13.2	2.3	0.0
	20～24歳	281	11.4	53.7	7.8	18.9	6.4	1.8
	25～29歳	339	15.0	51.3	9.1	18.9	5.3	0.3
	30～34歳	445	17.1	44.0	15.5	19.1	3.4	0.9
	35～39歳	433	15.5	45.0	13.9	21.2	3.7	0.7
将来への希望	希望がある	368	30.2	47.8	7.9	11.1	2.4	0.5
	どちらかといえば希望がある	805	13.4	54.4	11.1	17.8	2.6	0.7
	どちらかといえば希望がない	486	7.0	44.4	16.0	28.0	4.1	0.4
	希望がない	164	9.8	32.9	14.6	25.0	17.1	0.6

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

② 人生設計について学んだ経験

- 人生設計について学んだ経験は、「学ぶ機会があった」が36.5%、「学ぶ機会はなかった」が62.1%

(単純集計P30 問26)



【人生設計について学んだ経験×年齢】

- 10歳代で「学ぶ機会があった」の割合が高い。

【人生設計について学んだ経験×将来への希望】

- 「学ぶ機会があった」人は、「将来への希望がある」の割合が高くなり、「学ぶ機会がなかった」人は、「希望がない」の割合が高くなる傾向がみられる。

		合計	学ぶ機会があった	学ぶ機会はなかった	無回答
全体		1849	36.5	62.1	1.4
性別	男	787	38.1	60.5	1.4
	女	1038	35.4	63.3	1.3
	その他(どちらでもない・わからない)	12	33.3	66.7	0.0
年齢	15～17歳	218	55.5	42.2	2.3
	18・19歳	129	63.6	36.4	0.0
	20～24歳	281	43.8	54.1	2.1
	25～29歳	339	32.2	66.4	1.5
	30～34歳	445	28.1	71.0	0.9
	35～39歳	433	26.1	73.0	0.9
将来への希望	希望がある	368	47.8	51.6	0.5
	どちらかといえば希望がある	805	37.3	61.4	1.4
	どちらかといえば希望がない	486	30.7	68.5	0.8
	希望がない	164	25.6	73.8	0.6

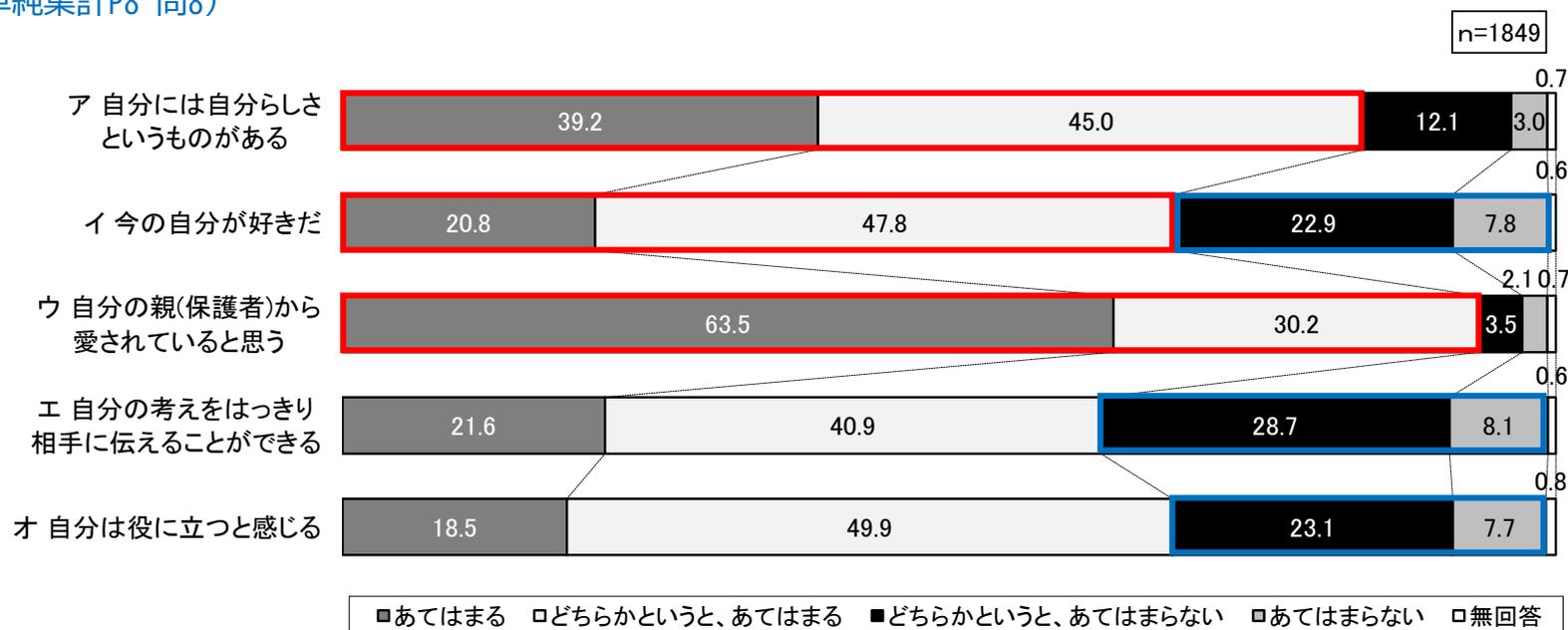
2 アンケート調査結果概要 (つづき)

(3) 自己肯定感・有用感、孤独感

① 自己肯定感・有用感

- 「あてはまる」と「どちらかという、あてはまる」を合わせた『あてはまる』は、「ウ 自分の親(保護者)から愛されていると思う」が93.7%で最も高い。次いで「ア 自分には自分らしさというものがある」(84.2%)、「イ 今の自分が好きだ」(68.6%)と続く。
- 一方、「どちらかという、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた『あてはまらない』は、「エ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」(36.8%)で最も高く、次いで「自分は役に立つと感じる」(30.8%)、「イ 今の自分が好きだ」(30.7%)と続く。

(単純集計P8 問8)



2 アンケート調査結果概要 (つづき)

【(過去)社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験の有無×自己肯定感・有用感】

- 今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があった人では、なかった人に比べると、「今の自分が好きだ」や「自分は役に立つと感じる」ことについて「あてはまらない」の割合が高い。

		合計	あてはまる	どちらかという と、あては まる	どちらかとい うと、あては まらない	あてはまら ない	無回答
自分には自分らしさというものがある							
全体		1849	39.2	45.0	12.1	3.0	0.7
今までの経 験	あった	410	44.4	37.6	12.2	5.4	0.5
	どちらかという と、あった	340	29.7	50.9	16.2	2.4	0.9
	どちらかという と、なかった	297	33.3	54.5	11.1	1.0	0.0
	なかった	785	43.1	42.9	10.7	2.8	0.5
今の自分が好きだ							
全体		1849	20.8	47.8	22.9	7.8	0.6
今までの経 験	あった	410	18.0	40.2	25.4	15.9	0.5
	どちらかという と、あった	340	14.7	47.6	29.4	7.6	0.6
	どちらかという と、なかった	297	18.5	50.2	27.6	3.7	0.0
	なかった	785	26.0	50.8	17.2	5.4	0.6
自分は役に立つと感じる							
全体		1849	18.5	49.9	23.1	7.7	0.8
今までの経 験	あった	410	16.8	40.7	25.6	16.1	0.7
	どちらかという と、あった	340	15.3	45.9	29.7	8.2	0.9
	どちらかという と、なかった	297	13.5	60.3	21.5	4.4	0.3
	なかった	785	22.8	52.7	19.4	4.5	0.6

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

【(現在)社会生活や日常生活を円滑に送れない状況の有無×自己肯定感・有用感】

- 現在、社会生活や日常生活を円滑に送ることができていない状況にある人では、そうでない人に比べると、「今の自分が好きだ」や「自分は役に立つと感じる」ことについて「どちらかというと、あてはまらない」、「あてはまらない」の割合が高い。

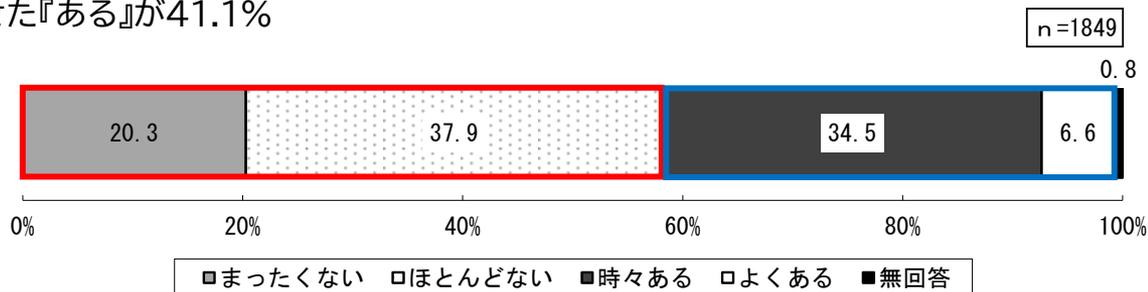
		合計	あてはまる	どちらかという と、あては まる	どちらかとい うと、あては まらない	あてはまら ない	無回答
自分には自分らしさというものがある							
現在の状況	全体	1849	39.2	45.0	12.1	3.0	0.7
	ある	103	39.8	30.1	18.4	9.7	1.9
	どちらかという と、ある	239	29.3	50.6	16.7	2.5	0.8
	どちらかとい うと、ない	408	30.1	53.4	13.0	3.2	0.2
	ない	1079	45.2	41.8	10.2	2.4	0.4
今の自分が好きだ							
現在の状況	全体	1849	20.8	47.8	22.9	7.8	0.6
	ある	103	16.5	19.4	35.0	27.2	1.9
	どちらかとい うと、ある	239	10.5	41.0	35.6	13.0	0.0
	どちらかとい うと、ない	408	13.5	49.0	29.4	7.6	0.5
	ない	1079	26.6	51.4	16.5	5.0	0.5
自分は役に立つと感じる							
現在の状況	全体	1849	18.5	49.9	23.1	7.7	0.8
	ある	103	9.7	25.2	34.0	29.1	1.9
	どちらかとい うと、ある	239	12.1	42.3	34.7	10.0	0.8
	どちらかとい うと、ない	408	10.0	55.9	24.5	9.1	0.5
	ない	1079	24.1	51.8	18.8	4.7	0.6

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

② 孤独感

- 孤独を感じるかどうかについて、「まったくない」と「ほとんどない」を合わせた『ない』が58.2%、「時々ある」と「よくある」を合わせた『ある』が41.1%

(単純集計P9 問10)



【孤独感×性別】

- 女性のほうが男性に比べて『ある』の割合がやや高い。

【孤独感×年齢】

- 30～34歳では、他の年代に比べて『ある』の割合がやや高い。

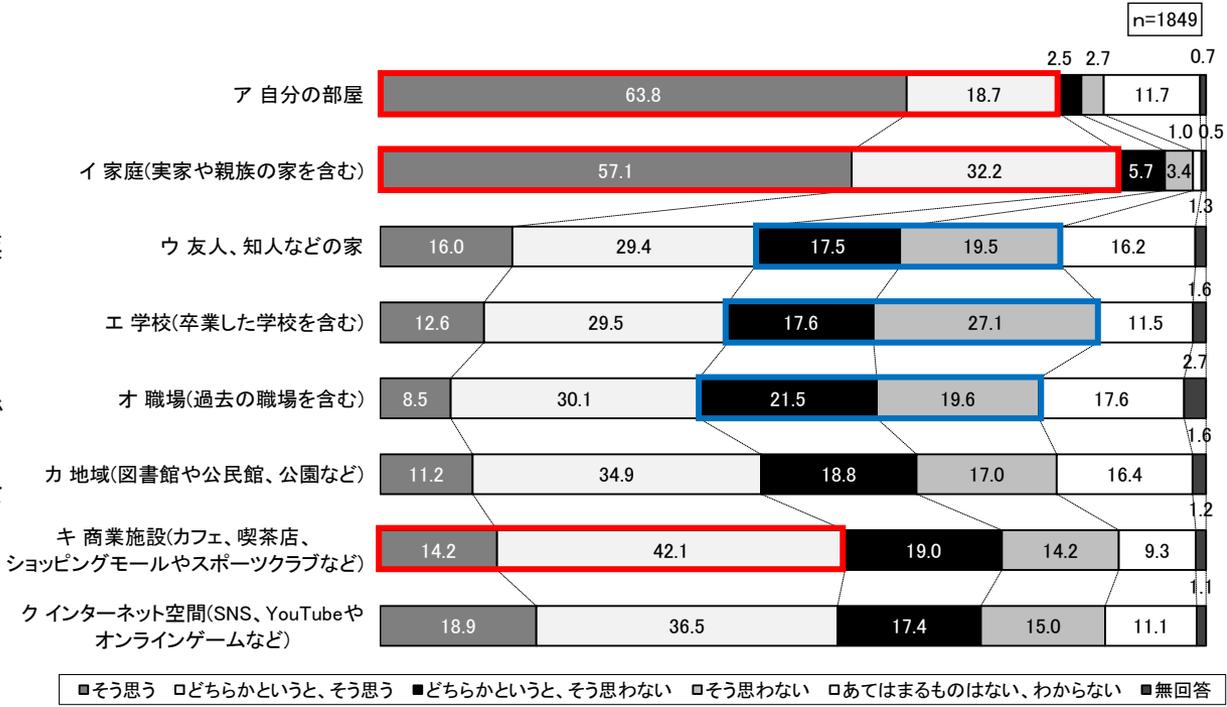
		合計	まったくない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答
全体		1849	20.3	37.9	34.5	6.6	0.8
性別	男	787	21.5	39.9	31.3	6.4	1.0
	女	1038	19.5	36.8	36.6	6.6	0.5
	その他	12	8.3	16.7	50.0	25.0	0.0
年齢	15～17歳	218	20.6	38.1	34.4	5.5	1.4
	18・19歳	129	21.7	39.5	30.2	7.8	0.8
	20～24歳	281	17.8	38.8	35.2	7.5	0.7
	25～29歳	339	17.7	40.7	33.9	6.8	0.9
	30～34歳	445	22.2	33.9	35.1	7.9	0.9
	35～39歳	433	21.2	38.6	35.1	4.8	0.2

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

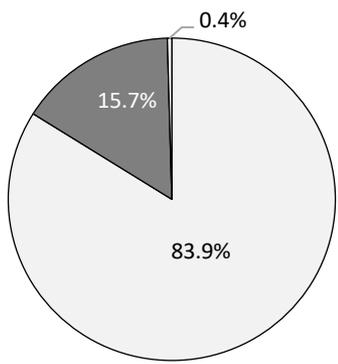
(4) 居場所

- 居場所となっているかどうかについて「そう思う」と「どちらかという、そう思う」を合わせた『そう思う』では、「イ 家庭(実家や親族の家を含む)」(89.3%)が最も高く、次いで「ア 自分の部屋」(82.5%)、「キ 商業施設(カフェ、喫茶店、ショッピングモールやスポーツクラブなど)」(56.3%)と続く。
- 一方、「そう思わない」と「どちらかという、そう思わない」を合わせた『そう思わない』では、「エ 学校(卒業した学校を含む)」(44.7%)が最も高く、次いで「オ 職場(過去の職場を含む)」(41.1%)、「ウ 友人、知人などの家」(37.0%)と続く。

(単純集計P10 問11)



- 「自分の部屋」、「家庭」、「インターネット空間」以外の場所(「友人、知人などの家」、「学校」、「職場」、「地域」、「商業施設」)をそれぞれ居場所と思うかについて、いずれも「そう思う」、「どちらかという、そう思う」を選ばなかった人は15.7%



- n=1849
- 自分の部屋、家庭、インターネット空間以外に居場所がある
 - 自分の部屋、家庭、インターネット空間以外に居場所がない
 - 無回答

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

【居場所×孤独感】

- 孤独感別に、ほっとできる場所、居心地の良い場所となっているかどうかをみると、「友人・知人などの家」、「学校」、「職場」、「地域」、「商業施設」では、孤独感が大きいほど、「そう思わない」の割合が高くなっているが、「自分の部屋」や「インターネット空間」においては、孤独感がある人においても『そう思う』の割合が比較的高い。

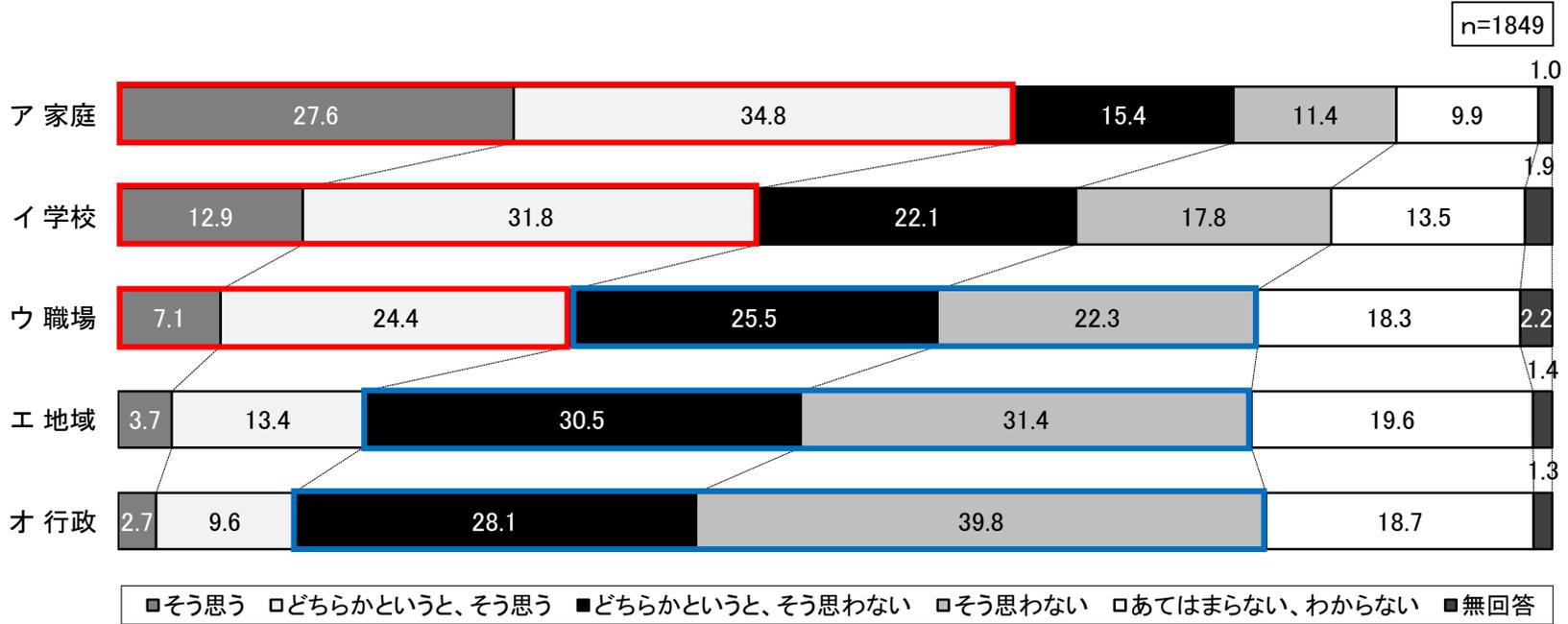
		合計	そう思う	どちらかという と、 そう思う	どちらかという と、 そう思 わない	そう思 わない	あては まるも のはな い、わ からな い	無回答			合計	そう思 う	どちら かとい うと、 そう思 う	どちら かとい うと、 そう思 わない	そう思 わない	あては まるも のはな い、わ からな い	無回答
ア 自分の部屋									オ 職場(過去の職場を含む)								
全体		1849	63.8	18.7	2.5	2.7	11.7	0.7	全体		1849	8.5	30.1	21.5	19.6	17.6	2.7
孤独感	まったくない	375	78.7	9.3	0.8	1.9	9.3	0.0	孤独感	まったくない	375	18.7	30.4	16.3	17.1	15.2	2.4
	ほとんどない	701	66.8	17.3	2.4	1.4	11.6	0.6		ほとんどない	701	7.8	34.5	21.7	14.7	18.4	2.9
	時々ある	637	54.9	24.5	3.5	3.5	13.2	0.5		時々ある	637	4.2	27.8	25.0	23.1	18.2	1.7
	よくある	122	49.2	25.4	3.3	9.0	12.3	0.8		よくある	122	3.3	17.2	18.0	40.2	18.0	3.3
イ 家庭(実家や親族の家を含む)									カ 地域(図書館や公民館、公園など)								
全体		1849	57.1	32.2	5.7	3.4	1.0	0.5	全体		1849	11.2	34.9	18.8	17.0	16.4	1.6
孤独感	まったくない	375	82.1	15.2	0.5	1.9	0.0	0.3	孤独感	まったくない	375	19.2	34.7	16.3	15.2	13.3	1.3
	ほとんどない	701	62.9	32.0	3.4	1.0	0.3	0.4		ほとんどない	701	12.0	37.8	18.4	13.1	16.8	1.9
	時々ある	637	42.2	41.9	9.7	4.4	1.7	0.0		時々ある	637	6.6	34.1	19.9	20.9	17.6	0.9
	よくある	122	26.2	36.1	14.8	17.2	4.9	0.8		よくある	122	6.6	23.8	23.8	26.2	18.9	0.8
ウ 友人、知人などの家									キ 商業施設(カフェ、喫茶店、ショッピングモールやスポーツクラブなど)								
全体		1849	16.0	29.4	17.5	19.5	16.2	1.3	全体		1849	14.2	42.1	19.0	14.2	9.3	1.2
孤独感	まったくない	375	32.5	25.3	14.4	14.7	12.0	1.1	孤独感	まったくない	375	25.3	38.9	14.1	13.9	7.2	0.5
	ほとんどない	701	15.1	33.5	19.0	16.4	14.7	1.3		ほとんどない	701	13.6	45.6	19.3	10.0	9.8	1.7
	時々ある	637	9.1	29.5	18.7	23.4	18.5	0.8		時々ある	637	9.4	43.8	22.3	15.2	8.6	0.6
	よくある	122	4.9	20.5	13.9	33.6	25.4	1.6		よくある	122	7.4	24.6	17.2	34.4	15.6	0.8
エ 学校(卒業した学校を含む)									ク インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)								
全体		1849	12.6	29.5	17.6	27.1	11.5	1.6	全体		1849	18.9	36.5	17.4	15.0	11.1	1.1
孤独感	まったくない	375	25.9	26.4	16.8	19.5	10.9	0.5	孤独感	まったくない	375	29.1	28.8	14.9	16.0	10.4	0.8
	ほとんどない	701	11.8	34.1	18.5	22.0	11.7	1.9		ほとんどない	701	17.1	41.4	16.3	12.4	11.6	1.3
	時々ある	637	6.9	29.4	17.6	33.6	11.5	1.1		時々ある	637	15.2	36.6	20.1	16.5	11.0	0.6
	よくある	122	5.7	15.6	14.8	49.2	12.3	2.5		よくある	122	17.2	32.0	18.0	19.7	12.3	0.8

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

(5) 意見の尊重

- 若者の意見が尊重されていると思うかは、「そう思う」と「どちらかという、そう思う」を合わせた『そう思う』についてみると、「ア 家庭」が62.4%と最も高く、次いで、「イ 学校」(44.7%)、「ウ 職場」(31.5%)と続く。
- 一方、「どちらかという、そう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は、「オ 行政」が67.9%と最も高く、次いで「エ 地域」(61.9%)、「ウ 職場」(47.8%)と続く。

(単純集計P34 問27)



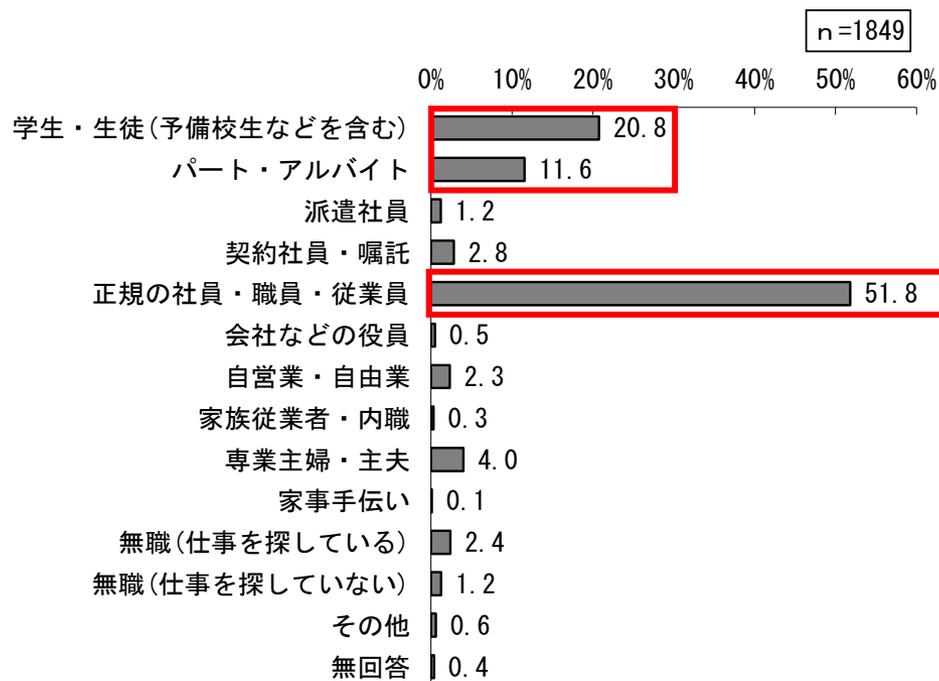
2 アンケート調査結果概要 (つづき)

(6) 就労

① 現在の就労状況

- 現在の就労状況は、「正規の社員・職員・従業員」が51.8%と最も高く、次いで「学生・生徒(予備校生などを含む)」(20.8%)、「パート・アルバイト」(11.6%)と続く。

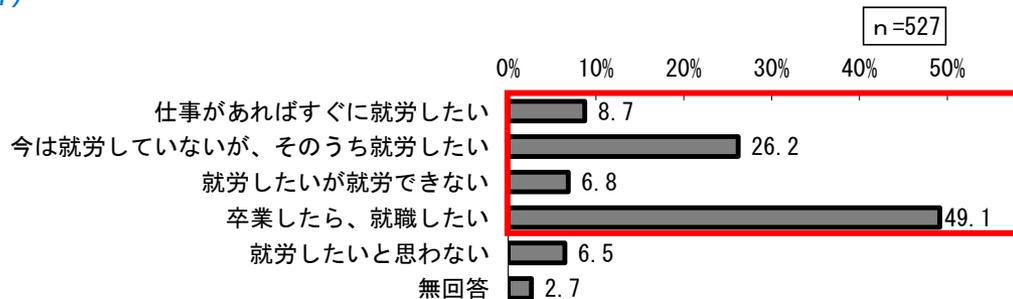
(単純集計P5 問5)



2 アンケート調査結果概要 (つづき)

② 今後の就労意向

- 現在、就労していない人の約9割が就労意向を示している。そのうち約1割弱が「就労したいが就労できない」と回答
(単純集計P7 問7)



【就労意向×就労状況】

- 無職(仕事を探している)人の約半数が「仕事があればすぐに就労したい」と回答
- 無職(仕事を探していない)人でも、8割近くの人が就労意向(そのうち就労したい、就労したいが就労できない)を示している。

		合計	仕事があればすぐに就労したい	今は就労していないが、そのうち就労したい	就労したいが就労できない	卒業したら、就職したい	就労したいと思わない	無回答
全体		527	8.7	26.2	6.8	49.1	6.5	2.7
就労状況	学生・生徒	384	3.9	15.1	3.4	67.4	7.0	3.1
	専業主婦・主夫	74	12.2	67.6	14.9	0.0	2.7	2.7
	家事手伝い	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無職(仕事を探している)	44	47.7	43.2	9.1	0.0	0.0	0.0
	無職(仕事を探していない)	23	0.0	47.8	30.4	0.0	21.7	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

③ 就労していない(できない)理由

【就労していない(できない)理由×就労状況】

- 現在、無職で、仕事を探している人が、就労したいのに、就労していない(できない)理由は、「条件の合う仕事が見つからない」(52.3%)が最も多く、次いで「これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない」(38.6%)、「自分や家族の体調が不安定になっている」(27.3%)と続く。

【就労していない(できない)理由×年齢】

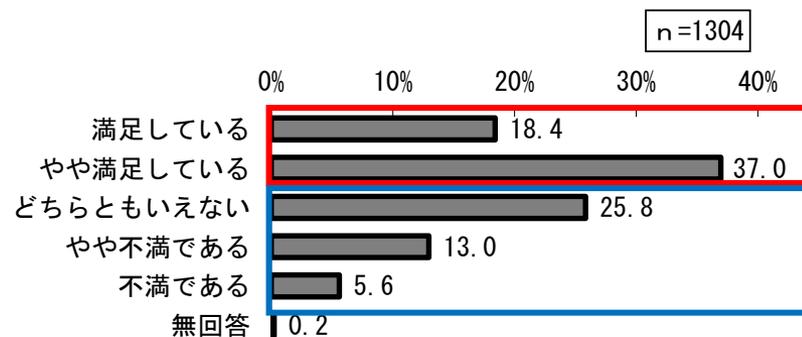
- 20～24歳では、他の年代に比べて「これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない」の割合が高い。

		合計	条件の合う仕事が見つからない	自分や家族の体調が不安定になっている	これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない	仕事に必要な専門知識や資格がない	子どもの預け先が見つからない	介護や家事があり、働く時間が確保できない	その他	わからない	特に理由はない	無回答
全体		220	26.8	15.5	15.0	11.8	8.6	5.5	36.8	1.4	10.0	3.6
問1 性別	男	76	26.3	13.2	15.8	17.1	0.0	1.3	39.5	2.6	11.8	3.9
	女	141	27.7	17.0	14.2	9.2	13.5	7.8	36.2	0.7	8.5	2.8
	その他	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
問2 年齢	15～17歳	61	6.6	0.0	4.9	8.2	0.0	0.0	63.9	3.3	13.1	6.6
	18・19歳	19	26.3	0.0	10.5	26.3	0.0	0.0	15.8	0.0	21.1	0.0
	20～24歳	27	40.7	22.2	37.0	18.5	3.7	0.0	11.1	0.0	18.5	11.1
	25～29歳	27	33.3	18.5	18.5	14.8	14.8	7.4	29.6	0.0	11.1	0.0
	30～34歳	46	34.8	32.6	17.4	6.5	10.9	13.0	41.3	0.0	2.2	2.2
	35～39歳	40	35.0	20.0	12.5	10.0	22.5	10.0	22.5	2.5	2.5	0.0
就労状況	学生・生徒	86	14.0	1.2	8.1	14.0	0.0	0.0	50.0	2.3	16.3	5.8
	専業主婦・主夫	70	28.6	15.7	5.7	2.9	25.7	12.9	40.0	1.4	5.7	0.0
	家事手伝い	2	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職(仕事を探している)	44	52.3	27.3	38.6	22.7	2.3	0.0	15.9	0.0	4.5	6.8
	無職(仕事を探していない)	18	22.2	44.4	16.7	11.1	0.0	16.7	16.7	0.0	11.1	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

④ 現在の仕事の満足度

- 現在の仕事の満足度について、「満足している」と「やや満足している」を合わせると5割以上の方が『満足している』と回答
- 「どちらともいえない」、「不満である」、「やや不満である」を合わせた『満足していない』人は、4割以上
(単純集計P6 問6)



【現在の仕事の満足度×就労状況】

- 就労状況別にみると、自営業等では、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』人の割合が高い。派遣社員では『満足している』の割合が低く、「どちらともいえない」の割合が高い。

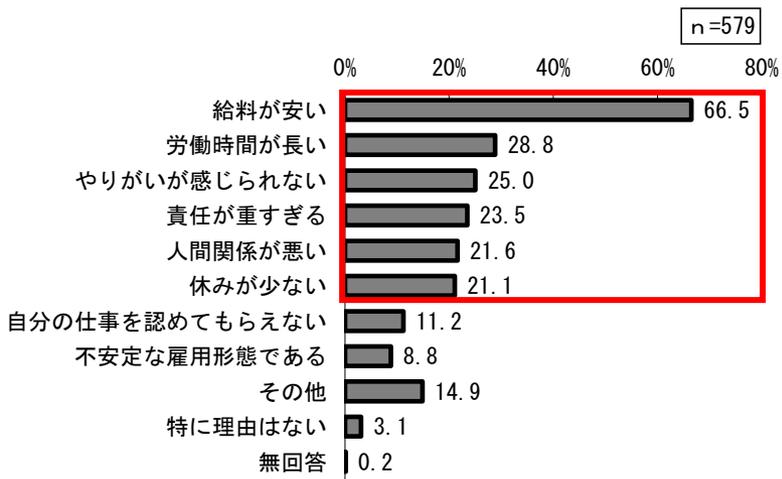
		合計	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
全体		1304	18.4	37.0	25.8	13.0	5.6	0.2
性別	男	564	18.6	38.1	23.6	13.5	5.9	0.4
	女	724	18.2	36.3	27.3	12.6	5.4	0.1
	その他	8	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	0.0
年齢	15～17歳	5	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	18～19歳	26	19.2	34.6	34.6	7.7	3.8	0.0
	20～24歳	180	22.8	40.6	19.4	13.3	3.3	0.6
	25～29歳	308	18.5	37.0	26.9	11.7	5.8	0.0
	30～34歳	394	16.2	36.3	26.4	14.0	6.6	0.5
	35～39歳	388	18.0	36.3	26.8	13.4	5.4	0.0
就労状況	パート・アルバイト	214	20.6	35.5	28.0	11.7	4.2	0.0
	派遣社員	22	9.1	27.3	40.9	13.6	9.1	0.0
	契約社員・嘱託	52	19.2	36.5	26.9	13.5	3.8	0.0
	正規の社員・職員・従業員	958	16.8	37.6	25.5	13.7	6.2	0.3
	会社などの役員	9	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0
	自営業・自由業	43	39.5	34.9	18.6	4.7	2.3	0.0
	家族従業者・内職	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

⑤ 不満の理由

- 不満の理由は、「給料が安い」が66.5%で最も高く、次いで「労働時間が長い」(28.8%)、「やりがいを感じられない」(25.0%)、「責任が重すぎる」(23.5%)、「人間関係が悪い」(21.6%)、「休みが少ない」(21.1%)と続く。

(単純集計P6 問6-1)



【不満の理由×就労状況】

- 正規の社員・職員・従業員、会社などの役員では、「労働時間が長い」の割合が高い。
- パート・アルバイト、派遣社員、契約社員・嘱託では、「不安定な雇用形態である」の割合が高い。

		合計	給料が安い	労働時間が長い	やりがいを感じられない	責任が重すぎる	人間関係が悪い	休みが少ない	自分の仕事を認めてもらえない	不安定な雇用形態である	その他	特に理由はない	無回答
全体		579	66.5	28.8	25.0	23.5	21.6	21.1	11.2	8.8	14.9	3.1	0.2
就労状況	パート・アルバイト	94	75.5	8.5	21.3	11.7	18.1	10.6	8.5	22.3	19.1	3.2	1.1
	派遣社員	14	57.1	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	28.6	0.0	7.1	0.0
	契約社員・嘱託	23	73.9	17.4	17.4	34.8	30.4	0.0	8.7	39.1	8.7	0.0	0.0
	正規の社員・職員・従業員	434	65.9	34.8	27.0	26.7	23.0	25.6	12.2	3.2	13.8	3.0	0.0
	会社などの役員	3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	自営業・自由業	11	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	27.3	45.5	9.1	0.0

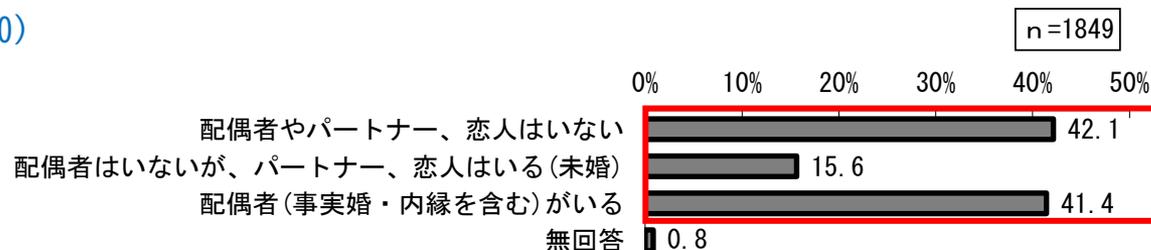
2 アンケート調査結果概要 (つづき)

(7) 結婚

① 配偶者・パートナー・恋人の有無

- 「配偶者やパートナー、恋人がいない」が42.1%、「配偶者はいないが、パートナー、恋人はいる」が15.6%、「配偶者がいる」が41.4%

(単純集計P25 問20)



【配偶者・パートナー・恋人の有無×年齢】

- 年齢が若いほど「配偶者やパートナー、恋人がいない」の割合が高く、10歳代の約8割が「いない」と回答

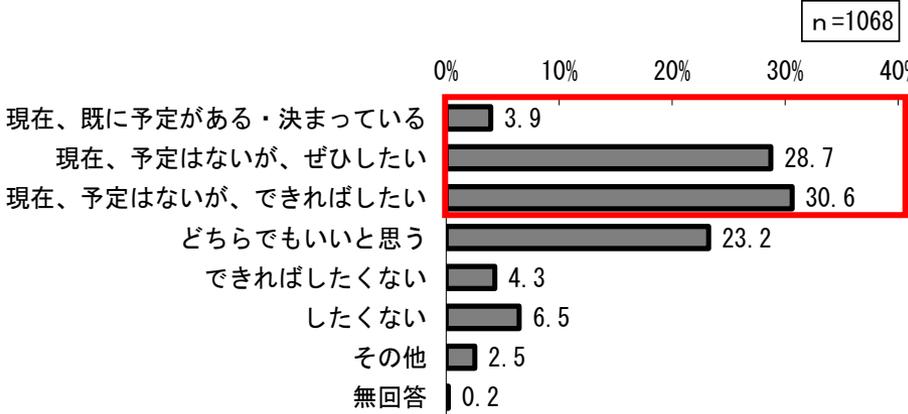
		合計	配偶者やパートナー、恋人はいる	配偶者はいないが、パートナー、恋人はいる (未婚)	配偶者 (事実婚・内縁を含む) がいる	無回答
	全体	1849	42.1	15.6	41.4	0.8
性別	男	787	49.2	13.9	36.1	0.9
	女	1038	36.4	16.7	46.1	0.8
	その他	12	50.0	33.3	16.7	0.0
	年齢	15~17歳	218	84.9	11.9	0.5
	18・19歳	129	79.8	20.2	0.0	0.0
	20~24歳	281	61.6	32.7	4.6	1.1
	25~29歳	339	35.4	24.5	39.8	0.3
	30~34歳	445	25.8	8.1	65.6	0.4
	35~39歳	433	18.9	6.0	74.6	0.5
就労経験	現在、就労している	1332	36.2	17.3	46.0	0.5
	現在、就労しているが、休職や休業中である	93	10.8	4.3	82.8	2.2
	現在は就労していないが、過去に就労経験がある	162	42.6	10.5	46.3	0.6
	これまでに就労経験はない	258	83.7	14.3	0.4	1.6

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

② 今後の結婚の意向

- 「現在、既に予定がある・決まっている」が3.9%、「現在、予定はないが、ぜひしたい」が28.7%、「現在、予定はないが、できればしたい」が30.6%で、6割以上の方が結婚の意向を示している。

(単純集計P25 問20-1)



【今後の結婚の意向×年齢】

- 18歳～29歳では「現在、予定はないが、ぜひしたい」の割合が高い。

【今後の結婚の意向×パートナー・恋人の有無】

- パートナーや恋人がいる人のほうが、いない人に比べて「ぜひしたい」の割合が高く、いない人では「できればしたい」の割合が最も高い。

		合計	現在、既に 予定があ る・決まっ ている	現在、予定 はないが、 ぜひしたい	現在、予定 はないが、 できればし たい	どちらでも いいと思う	できればし たくない	したくない	その他	無回答
全体		1068	3.9	28.7	30.6	23.2	4.3	6.5	2.5	0.2
性別	男	496	3.6	28.2	33.3	22.0	3.2	6.0	3.4	0.2
	女	551	3.8	29.9	28.7	24.3	5.1	6.5	1.5	0.2
	その他	10	30.0	0.0	20.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0
年齢	15～17歳	211	0.5	27.5	31.8	26.5	3.8	4.3	5.2	0.5
	18・19歳	129	0.8	36.4	33.3	20.2	2.3	6.2	0.8	0.0
	20～24歳	265	3.4	34.0	32.5	20.8	3.8	4.5	1.1	0.0
	25～29歳	203	9.9	31.5	28.6	18.2	4.9	6.4	0.5	0.0
	30～34歳	151	5.3	20.5	32.5	26.5	4.0	7.3	3.3	0.7
	35～39歳	108	2.8	15.7	22.2	31.5	8.3	14.8	4.6	0.0
恋人はいる か	いない	779	0.6	24.1	30.6	28.1	5.3	8.2	2.8	0.3
	いる	289	12.8	41.2	30.8	10.0	1.7	1.7	1.7	0.0

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

③ 結婚したいと思わない理由

- 結婚したいと思わない理由は、「結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」が40.8%で最も多く、次いで「結婚に選ばれたくないから、自由でいたいから」(35.3%)、「結婚生活を送る経済力がないから、仕事不安定だから」(26.2%)と続く。

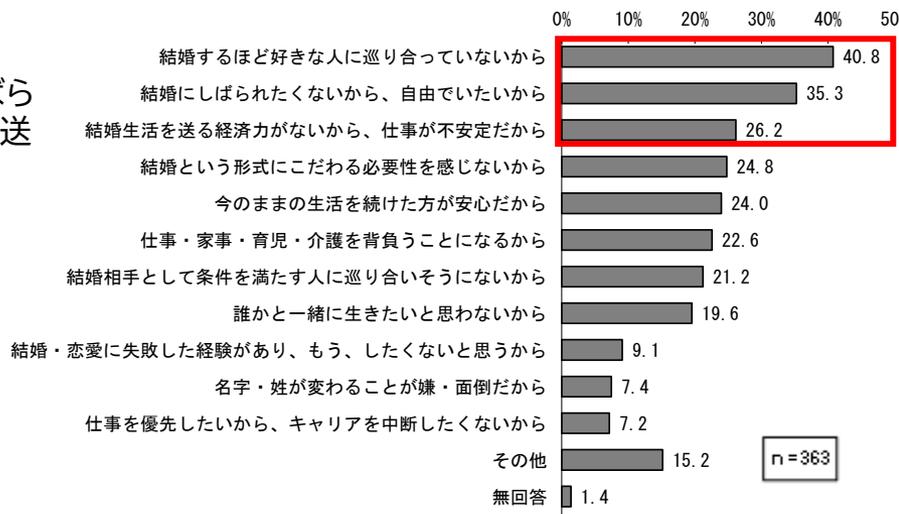
(単純集計P26 問20-2)

【結婚したいと思わない理由×性別】

- 男性では女性に比べて「結婚生活を送る経済力がないから、仕事不安定だから」の割合が高く、女性では男性に比べて「仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから」、「名字・姓が変わることが嫌・面倒だから」の割合が高い。

【結婚したいと思わない理由×年齢】

- 25～29歳では、他の年代に比べて「結婚に選ばれたくないから、自由でいたいから」、「結婚生活を送る経済力がないから、仕事不安定だから」の割合が高い。



	合計	結婚するほど好きな人に巡り合っていないから	結婚に選ばれたくないから、自由でいたいから	結婚生活を送る経済力がないから、仕事不安定だから	結婚という形式にこだわる必要性を感じないから	今のままの生活を続けた方が安心だから	仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから	結婚相手として条件を満たす人に巡り合いそうにないから	誰かと一緒に生きていたいと思わないから	結婚・恋愛に失敗した経験があり、もう、したくないと思うから	名字・姓が変わることが嫌・面倒だから	仕事を優先したいから、キャリアを中断したくないから	その他	無回答	
全体	363	40.8	35.3	26.2	24.8	24.0	22.6	21.2	19.6	9.1	7.4	7.2	15.2	1.4	
性別	男	155	40.6	36.8	37.4	19.4	25.2	14.2	20.0	16.8	6.5	0.6	5.8	11.6	2.6
	女	198	40.9	34.8	17.7	29.3	23.2	29.3	21.2	20.2	10.1	12.1	8.6	17.2	0.5
	その他	4	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	75.0	25.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0
年齢	15～17歳	73	47.9	28.8	6.8	20.5	20.5	19.2	16.4	12.3	4.1	2.7	8.2	11.0	2.7
	18・19歳	37	29.7	35.1	16.2	18.9	13.5	13.5	13.5	24.3	5.4	5.4	13.5	18.9	0.0
	20～24歳	77	46.8	36.4	26.0	31.2	22.1	27.3	27.3	15.6	7.8	7.8	6.5	14.3	0.0
	25～29歳	60	36.7	56.7	46.7	25.0	28.3	26.7	20.0	23.3	5.0	3.3	8.3	8.3	0.0
	30～34歳	57	42.1	33.3	36.8	21.1	24.6	22.8	29.8	28.1	8.8	12.3	5.3	17.5	1.8
	35～39歳	59	33.9	22.0	25.4	28.8	32.2	22.0	16.9	18.6	23.7	13.6	3.4	23.7	3.4

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

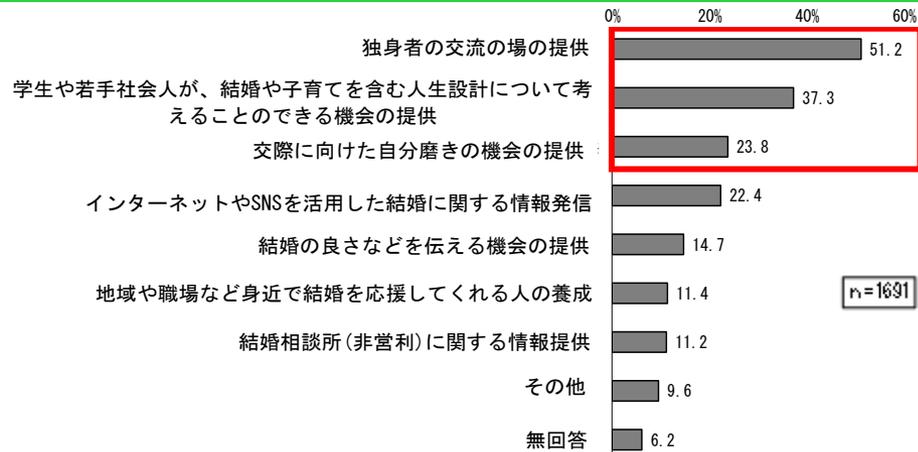
④ 力を入れるべき結婚支援

- 力を入れるべき結婚支援は、「独身者の交流の場の提供」が51.2%で最も多く、次いで「学生や若手社会人が、結婚や子育てを含む人生設計について考えることのできる機会の提供」(37.3%)、「実際にに向けた自分磨きの機会の提供」(23.6%)と続く。

(単純集計P27 問21)

【力を入れるべき結婚支援×年齢】

- 年齢が若いほど「実際にに向けた自分磨きの機会の提供」の割合が高く、年齢が上がるにつれて「独身者の交流の場の確保」の割合が高い傾向がみられる。



		合計	独身者の交流の場の提供	学生や若手社会人が、結婚や子育てを含む人生設計について考えることのできる機会の提供	実際にに向けた自分磨きの機会の提供	インターネットやSNSを活用した結婚に関する情報発信	結婚の良さなどを伝える機会の提供	地域や職場など身近で結婚を応援してくれる人の養成	結婚相談所に関する情報提供	その他	無回答
全体		1691	51.2	37.3	23.8	22.4	14.7	11.4	11.2	9.6	6.2
性別	男	716	49.4	34.6	24.4	20.8	17.9	11.9	12.4	10.8	6.1
	女	958	53.0	39.5	23.4	23.4	12.4	11.0	10.0	8.5	5.8
	その他	10	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	40.0	20.0
	合計	1691	51.2	37.3	23.8	22.4	14.7	11.4	11.2	9.6	6.2
年齢	15～17歳	183	34.4	41.5	37.2	21.3	19.7	12.0	8.7	4.4	7.1
	18・19歳	117	37.6	39.3	30.8	23.1	17.9	12.8	9.4	9.4	4.3
	20～24歳	254	41.7	36.2	26.0	17.3	17.3	13.0	9.1	8.7	8.7
	25～29歳	314	50.3	35.7	27.4	26.8	14.0	11.5	8.3	11.8	6.4
	30～34歳	420	60.0	36.9	18.3	23.6	10.0	9.8	13.3	11.0	4.8
	35～39歳	401	60.3	37.2	17.5	20.9	15.5	11.5	14.0	9.5	5.7
婚姻状況	配偶者やパートナー、恋人はいない	650	48.5	31.1	32.2	21.1	15.8	12.8	12.5	8.0	7.7
	パートナー、恋人はいる(未婚)	274	36.1	43.8	25.2	24.8	22.3	13.1	7.3	10.9	8.8
	配偶者がいる	766	59.0	40.3	16.2	22.6	11.1	9.7	11.5	10.4	3.9
結婚意向	現在、既に予定がある・決まっている	42	35.7	50.0	23.8	21.4	11.9	2.4	4.8	9.5	0.0
	現在、予定はないが、ぜひしたい	307	47.6	33.9	37.5	25.1	17.6	16.3	13.0	7.5	0.0
	現在、予定はないが、できればしたい	327	48.3	35.5	33.0	20.2	19.0	11.9	11.0	7.0	0.0
	どちらでもいいと思う	248	38.3	32.7	18.1	21.4	17.3	11.7	9.3	12.9	0.0

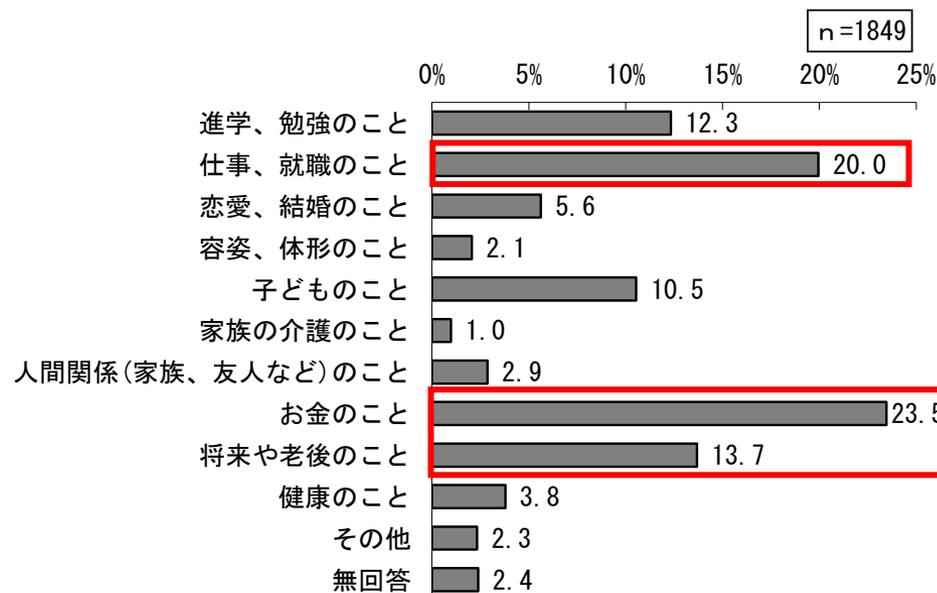
2 アンケート調査結果概要 (つづき)

(8) 相談体制

① 悩みや不安

- 最大の悩み・不安は、「お金のこと」が23.5%と最も高く、次いで「仕事、就職のこと」(20.0%)、「将来や老後のこと」(13.7%)と続く。

(単純集計P14 問14)

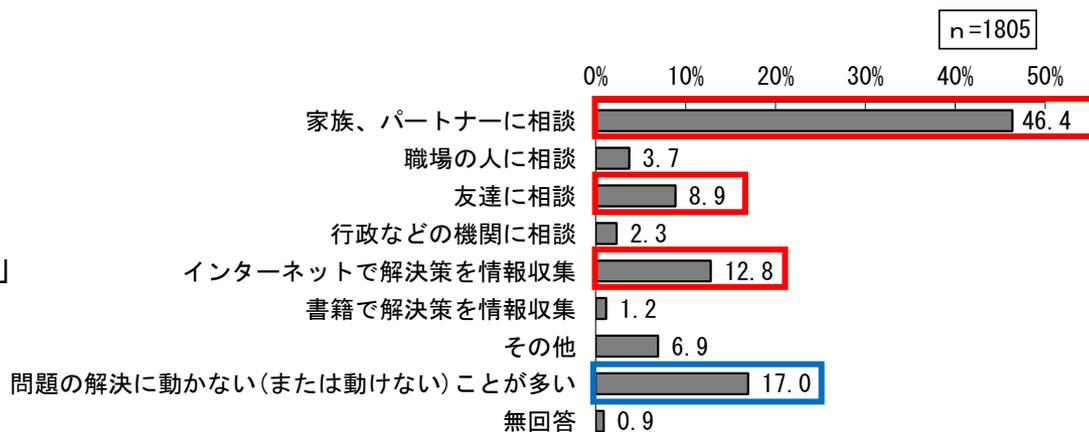


② 悩みや不安の相談先

- 最大の悩みについての解決方法は、「家族、パートナーに相談」が46.4%で最も高く、次いで「インターネットで解決策を情報収集」(12.8%)、「友達に相談」(8.9%)と続く。

- 問題の解決に動かない(または動けない)ことが多いと回答した人は17.0%

(単純集計P16 問15)



2 アンケート調査結果概要 (つづき)

【悩みや不安の相談先×悩みや不安】

- 悩みや不安別に解決方法をみると、恋愛、結婚のことは「友達に相談」、容姿、体形のことは「インターネットで解決策を情報収集」の割合がそれぞれ最も高い。お金のことでは、他の悩みや不安に比べて「問題の解決に動かない(または動けない)ことが多い」の割合が高い。

		合計	家族、 パート ナーに相 談	インテ ーネッ トで 解決策 を情 報収集	友達に相 談	職場の人 に相談	行政など の機関に 相談	書籍で解 決策を情 報収集	その他	問題の解 決に動か ない(また は動けな い)ことが 多い	無回答
全体		1805	46.4	12.8	8.9	3.7	2.3	1.2	6.9	17.0	0.9
最大の悩み	進学、勉強のこと	228	50.4	8.8	23.7	0.4	0.4	2.6	10.1	3.5	0.0
	仕事、就職のこと	369	47.2	11.4	9.2	13.6	2.4	0.5	4.6	10.3	0.8
	恋愛、結婚のこと	104	27.9	9.6	30.8	2.9	0.0	1.0	5.8	21.2	1.0
	容姿、体形のこと	38	31.6	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0
	子どものこと	195	71.3	6.2	1.0	1.0	5.1	0.0	5.6	6.2	3.6
	家族の介護のこと	18	33.3	11.1	0.0	5.6	22.2	0.0	11.1	11.1	5.6
	人間関係のこと	53	37.7	5.7	22.6	5.7	0.0	0.0	5.7	20.8	1.9
	お金のこと	434	42.2	14.3	1.6	1.2	1.8	1.4	6.2	30.9	0.5
	将来や老後のこと	253	45.1	17.8	5.1	0.8	2.4	2.0	4.0	22.9	0.0
	健康のこと	70	41.4	21.4	4.3	0.0	4.3	1.4	20.0	7.1	0.0
その他		43	37.2	4.7	2.3	0.0	2.3	0.0	27.9	23.3	2.3

【悩みや不安の相談先×居場所】

- 居場所別では、自分の部屋、家庭、インターネット空間以外に居場所がない人では、そうでない人に比べて「問題の解決に動かない(または動けない)ことが多い」の割合が高い。

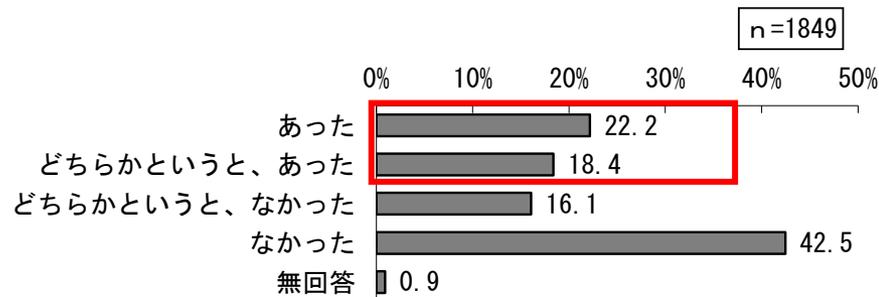
		合計	家族、 パート ナーに相 談	インテ ーネッ トで 解決策 を情 報収集	友達に相 談	職場の人 に相談	行政など の機関に 相談	書籍で解 決策を情 報収集	その他	問題の解 決に動か ない(また は動けな い)ことが 多い	無回答
全体		1805	46.4	12.8	8.9	3.7	2.3	1.2	6.9	17.0	0.9
自分の部屋、家庭、インター ネット空間以外居場所なし	該当	284	42.3	15.5	1.8	2.8	1.8	0.4	6.3	27.8	1.4
	非該当	1511	47.1	12.4	10.3	3.9	2.4	1.3	7.0	14.9	0.7

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

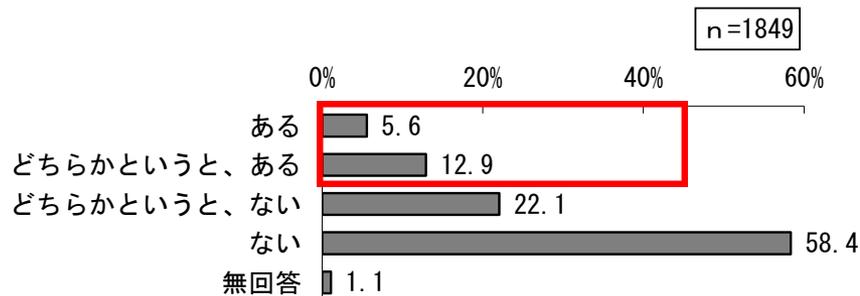
(9) 困難な状況

① 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験 (単純集計P20 問17)

- 今まで社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験が『(どちらかというと)あった』人は40.6%



- 現在、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状況に『(どちらかというと)ある』人は、18.5%



2 アンケート調査結果概要 (つづき)

② ひきこもり状態にある人

※ほとんど外出しない状況が半年以上続き、その理由が妊娠・出産や仕事、身体的病気や統合失調症以外の人

- ひきこもり状態にある人は、2.0%

		合計	該当	非該当	無回答
全体		1849	2.0	98.0	0.0
性別	男	787	1.8	98.2	0.0
	女	1038	2.0	98.0	0.0
	その他	12	8.3	91.7	0.0
年齢	15～17歳	218	1.4	98.6	0.0
	18・19歳	129	3.1	96.9	0.0
	20～24歳	281	2.5	97.5	0.0
	25～29歳	339	0.9	99.1	0.0
	30～34歳	445	3.4	96.6	0.0
	35～39歳	433	1.2	98.8	0.0

【ひきこもり状態×孤独感】

- ひきこもりの状態にある人の孤独感について、「よくある」が29.7%、「時々ある」を合わせると75.6%が『ある』と回答

		合計	まったくない	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答
全体		1849	20.3	37.9	34.5	6.6	0.8
ひきこもり状態にある人	該当	37	8.1	16.2	45.9	29.7	0.0
	非該当	1812	20.5	38.4	34.2	6.1	0.8

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

【ひきこもり状態×最大の悩みや不安】

- ひきこもり状態にある人の最大の悩みは「仕事、就職のこと」が24.3%で最も高く、次いで「子どものこと」(18.9%)、「お金のこと」(13.5%)と続く。

最大の悩み													
	合計	お金の こと	仕事、 就職の こと	将来や 老後の こと	進学、 勉強の こと	子ども のこと	恋愛、 結婚の こと	健康の こと	人間関 係のこ と	容姿、 体形の こと	家族の 介護の こと	その他	無回答
全体	1849	23.5	20.0	13.7	12.3	10.5	5.6	3.8	2.9	2.1	1.0	2.3	2.4
ひきこもり状 態	該当	37	13.5	24.3	8.1	8.1	18.9	5.4	10.8	8.1	0.0	0.0	2.7
	非該当	1812	23.7	19.9	13.8	12.4	10.4	5.6	3.6	2.8	2.1	1.0	2.4

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

③ ヤング(若者)ケアラー状態にある人

※問16で「あてはまるものがない」以外を一つでも選んだ人

- ヤング(若者)ケアラーの状態にある人は、9.0%

		合計	該当	非該当	無回答
全体		1849	9.0	87.7	3.3
性別	男	787	6.7	89.6	3.7
	女	1038	10.5	86.5	3.0
	その他	12	25.0	75.0	0.0
年齢	15～17歳	218	5.0	92.2	2.8
	18・19歳	129	6.2	90.7	3.1
	20～24歳	281	5.7	91.5	2.8
	25～29歳	339	8.8	88.2	2.9
	30～34歳	445	11.7	85.2	3.1
	35～39歳	433	11.5	84.5	3.9

【ヤング(若者)ケアラー状態×(現在) 社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況の有無】

- ヤング(若者)ケアラーの状態にある人のうち、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況にある人は、40.1%

		合計	ある	どちらかという と、ある	どちらかという と、ない	ない	無回答
全体		1849	5.6	12.9	22.1	58.4	1.1
ヤングケア ラー状態	該当	167	12.6	27.5	21.6	37.1	1.2
	非該当	1621	4.9	11.2	22.4	61.0	0.6

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

【ヤング(若者)ケアラー状態×最大の悩みや不安】

- ヤングケアラー(若者ケアラー)の状態にある人の最大の悩みは「お金のこと」が27.5%で最も高く、次いで「仕事、就職のこと」(16.8%)、「子どものこと」(16.2%)

最大の悩み														
		合計	お金の こと	仕事、 就職の こと	将来や 老後の こと	進学、 勉強の こと	子ども のこと	恋愛、 結婚の こと	健康の こと	人間関 係のこ と	容姿、 体形の こと	家族の 介護の こと	その他	無回答
全体		1849	23.5	20.0	13.7	12.3	10.5	5.6	3.8	2.9	2.1	1.0	2.3	2.4
ヤングケア ラー状態	該当	167	27.5	16.8	9.6	4.8	16.2	4.2	3.6	3.6	3.0	5.4	4.2	1.2
	非該当	1621	22.9	20.2	14.3	13.3	10.1	5.8	3.9	2.8	1.9	0.6	2.2	2.0

④ ニート状態にある人 ※現在、就学・就労しておらず、就労意向のない独身者

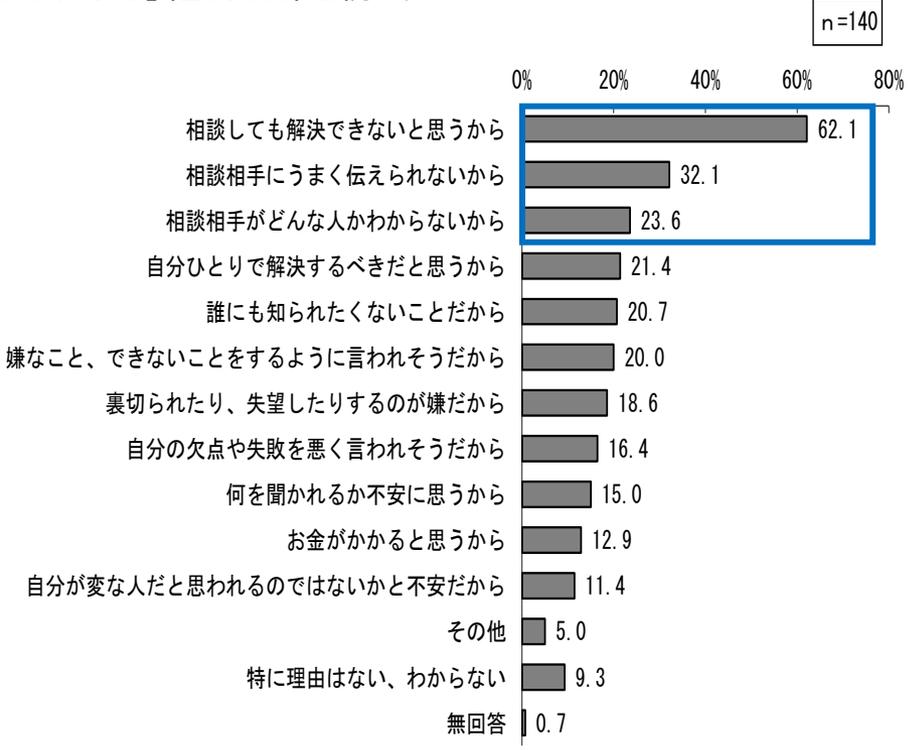
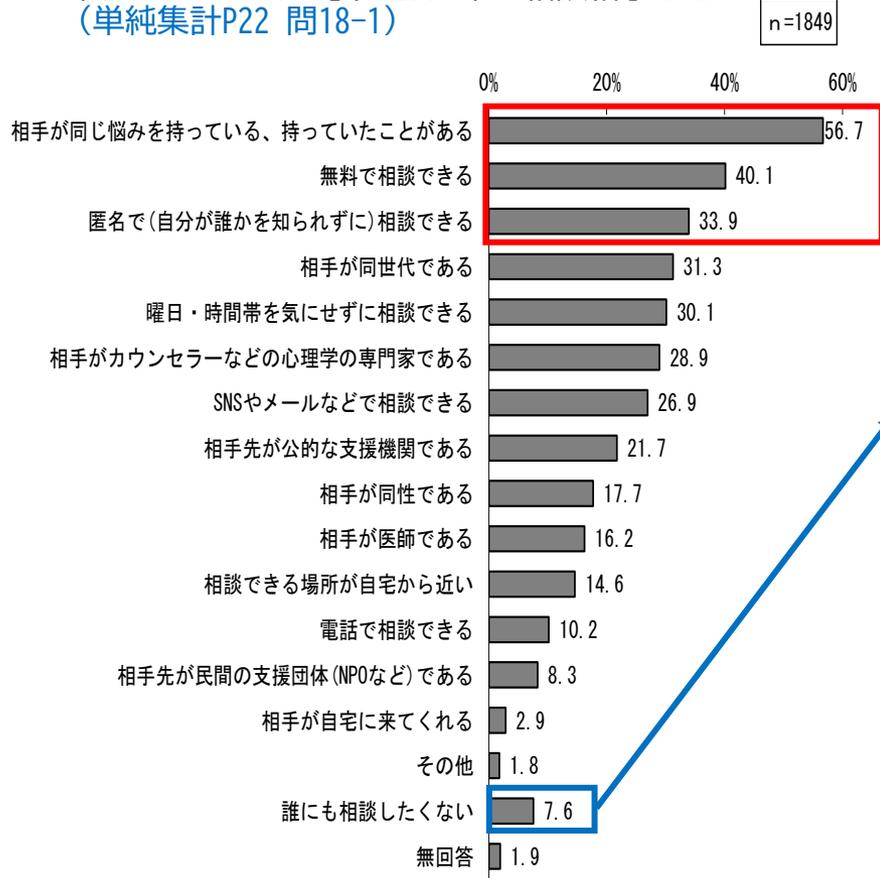
- ニート状態にある人の割合は、0.3%

		合計	該当	非該当	無回答
全体		1849	0.3	99.7	0.0
性別	男	787	0.3	99.7	0.0
	女	1038	0.1	99.9	0.0
	その他	12	0.0	100.0	0.0
年齢	15～17歳	218	0.5	99.5	0.0
	18・19歳	129	0.8	99.2	0.0
	20～24歳	281	0.7	99.3	0.0
	25～29歳	339	0.0	100.0	0.0
	30～34歳	445	0.2	99.8	0.0
	35～39歳	433	0.0	100.0	0.0

2 アンケート調査結果概要 (つづき)

⑤ 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときの相談先

- 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外なら、どのような人や場所なら相談したいかについて、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が56.7%と最も高く、次いで「無料で相談できる」(40.1%)、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」(33.9%)と続く。
- 誰にも相談したくない人は7.6%
(単純集計P21 問18)
- 誰にも相談したくない理由は、「相談しても解決できないと思うから」が62.1%と最も高く、次いで「相談相手にうまく伝えられないから」(32.1%)、「相談相手がどんな人かわからないから」(23.6%)と続く。
(単純集計P22 問18-1)



2 アンケート調査結果概要 (つづき)

【家族や知り合い以外の相談先や相談方法×居場所】

- 居場所別にみると、自分の部屋、家庭、インターネット空間以外に居場所がない人では、そうでない人に比べて「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」、「相手と同世代である」の割合が低く、「誰にも相談したくない」の割合が高い。

		合計	相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある	無料で相談できる	匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる	相手と同世代である	曜日・時間帯を気にせずに相談できる	相手がカウンセラーなどの心理学の専門家である	SNSやメールなどで相談できる	相手先が公的な支援機関である	相手と同姓である
全体		1849	56.7	40.1	33.9	31.3	30.1	28.9	26.9	21.7	17.7
自分の部屋、家庭、インターネット空間以外居場所なし	該当	291	45.0	42.3	31.3	21.6	29.6	27.5	25.4	21.3	14.4
	非該当	1544	59.1	40.0	34.5	33.4	30.3	29.3	27.3	21.9	18.5
		合計	相手が医師である	相談できる場所が自宅から近い	電話で相談できる	相手先が民間の支援団体(NPOなど)である	相手が自宅に来してくれる	その他	誰にも相談したくない	無回答	
全体		1849	16.2	14.6	10.2	8.3	2.9	1.8	7.6	1.9	
自分の部屋、家庭、インターネット空間以外居場所なし	該当	291	16.2	15.8	11.0	7.9	1.4	1.0	15.5	2.1	
	非該当	1544	16.4	14.5	10.1	8.4	3.2	1.9	6.1	1.6	